

年度	1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度
----	----------------------

南房総市長 宛 令和 年 月 日提出			〔 特別徴収 〕 義務者 給与支払者	所在地											特別徴収義務者 指 定 番 号												
				フリガナ											担 連 当 絡 先		整 理 番 号										
				氏名又は名称													所 属										
				個人番号 又は法人番号																氏 名							
														←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載										電 話		内線()	
給与所得者	フリガナ											(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)－(イ)	異 動 年 月 日	異 動 の 事 由 1. 退 職 2. 転 勤 3. 休職・長勤 4. 死 亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. そ の 他 事由・理由	異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法 1. 特別徴収継続 2. 一 括 徴 収 3. 普 通 徴 収 (本人納付)										
	氏 名																										
	生 年 月 日	年	月	日																							
	個 人 番 号																										
	受給者番号																										
	1月1日 現在の住所																										
	異動後の 住 所																										
											円	円	円	年	月	日											

1. 特別徴収継続の場合																		新しい勤務先へは、月割額 円を			
新しい勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指 定 番 号	新規										法人 番 号							月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。		
	所 在 地	〒										担 当 者 連 絡 先	所 属								
	フリガナ												氏 名							受給者番号	
	氏名又は名称												電 話	内線()						納入書の可否 (新規の場合のみ記載)	右から 番号を 記入

2. 一括徴収の場合						左記の一括徴収した税額は、 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
理 由	右から 番号を 記入	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日		徴収予定額(上記ウ)と同額)	
			月	日	円	

3. 普通徴収の場合		※市記入欄	
理由	右から 番号を 記入 1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため		

記載要領

1 給与支払報告に係る給与所得者異動届出書

この届出書は、市町村長に提出した給与支払報告書に記載された者のうち特別徴収税額がない者で、4月1日現在において給与の支払を受けなくなった者がある場合に4月15日までに関係市町村長に提出してください。

2 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

この届出書は、給与の支払を受けている者で、特別徴収税額のある給与の支払を受けなくなった場合にその受けなくなった日の属する月の翌月の10日までに関係市町村長に提出してください。ただし、4月2日から5月31日までの間に給与の支払を受けなくなった者の市町村民税をその年度から新たに特別徴収の方法によって徴収すべき市町村長に対する届出書は、その市町村長から特別徴収税額の通知があった日の属する月の翌月の10日までに提出してください。

3 「給与支払者(特別徴収義務者)」欄中の「個人番号又は法人番号」欄には、給与支払者(特別徴収義務者)の個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。)又は法人番号(同条第15項に規定する法人番号をいう。)を記載してください。なお、個人番号を記載する場合には、左側を1文字空けて記載してください。

4 「給与支払者(特別徴収義務者)」欄中の「特別徴収義務者指定番号」欄には、届出書を提出する関係市町村長により指定された特別徴収義務者指定番号を記載してください。

5 「給与支払者(特別徴収義務者)」欄中の「整理番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された整理番号を記載してください。

6 「給与所得者」欄中の「個人番号」欄には、給与所得者の個人番号を記載してください。

7 「給与所得者」欄中の「受給者番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された受給者番号を記載してください。

8 「異動後の住所」欄には、異動後の住所を記載してください。異動後の住所が不明なときは、給与の支払を受けなくなった当時の住所を記載してください。

9 「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄は、次の要領により記載してください。

(1) 給与の支払を受けなくなった者が、新しい勤務先において特別徴収の継続を希望する場合には、枠内に「1」と番号を記入するとともに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。

(2) 退職後令和 年5月31日までに支払われる給与又は退職手当等から未徴収税額を一括徴収する場合には、枠内に「2」と番号を記入するとともに「2. 一括徴収の場合」欄に必要事項を記載してください。(注 令和 年1月1日から4月30日までの間に、退職等により給与の支払を受けなくなった場合には、本人から一括徴収の申出がなくとも必ず一括徴収しなければなりません。)

(3) (1)又は(2)に該当しない場合には、枠内に「3」と番号を記入するとともに、「3. 普通徴収の場合」欄に、その理由を同欄に掲げているものから選び、該当する番号を枠内に記入してください。(注 同欄に掲げている理由に該当しない場合は、新しい勤務先において特別徴収の継続の申出がある場合を除き、特別徴収義務者は、必ず一括徴収しなければなりません。)

10 「1. 特別徴収継続の場合」欄中の「特別徴収義務者指定番号」欄には、届出書を提出する関係市町村長により指定された特別徴収義務者指定番号を記載してください。これまでに同市町村長から指定されたことがない場合にあっては、「新規」を○で囲んでください。

11 「1. 特別徴収継続の場合」欄中の「納入書の要否」欄には、「特別徴収義務者指定番号」欄の「新規」を○で囲んだ場合にのみ記載してください。

12 「2. 一括徴収の場合」欄中の「徴収予定月日」欄には、一括徴収の対象となる給与又は退職手当等の支給月日を記載してください。

13 ※印の欄は、記載しないでください。

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

南房総市長 宛															年度		1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度		
令和 ○ 年 1 月 31 日提出															特別徴収義務者 指定番号		700000		
所在地 〒 299-2416 南房総市富浦町青木〇〇番地															フリガナ		カブシキガイシャ 〇〇〇〇〇		
氏名又は名称 株式会社 〇〇〇〇〇															12月までの退職で、本人が一括徴収を希望しない場合は、普通徴収（退職者が納付書で税額を納める方法）が選択可能です。3を記入してください。		10		
個人番号又は法人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															総務課給与係		南房 花子		
給与支払者 （特別徴収義務者）															70-33-〇〇〇〇		内線()		
フリガナ		トミウラ ジロウ			(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)		異 動 年 月 日		異 動 の 事 由		異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法				
氏 名		富浦 次郎			60,000		6 月から 1 月まで		2 月から 5 月まで		R7 年 1 月 25 日		1 右から 番号を 記入		2 右から 番号を 記入				
生 年 月 日		昭和56 年 7 月 8 日											1. 退職 2. 転 勤 3. 休職・長勤 4. 死 亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. そ の 他 事由・理由		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)				
個 人 番 号		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2																	
受給者番号																			
1月1日 現在の住所		南房総市岩糸〇〇番地																	
異動後の 住 所		同上																	

1. 特別徴収継続の場合

1 月末で退職した給与所得者の税額を2月分（3月10日納期限）で一括して納入する場合。

(ア) 特別徴収税額（年税額） 60,000円（6月から翌年5月分）

(イ) 徴収済額 40,000円（6月から翌年1月分）

(ウ) 未徴収税額 20,000円（翌年2月から翌年5月分）

↑

一括徴収税額（納入額と同額）

新しい勤務先へは、月割額 円を 月分（翌月10日納入期限分）から徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号

納入書の要否（新規の場合のみ記載） 1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

理由 2 右から番号を記入

1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため

2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日 2 月 20 日

徴収予定額（上記(ウ)と同額） 20,000 円

左記の一括徴収した税額は、 2 月分（翌月10日納入期限分）で納入します。

3. 普通徴収の場合

理由 右から番号を記入

1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため

2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため

3. 死亡による退職であるため

※市記入欄

一括で徴収した税額を納入する月
※1月以降の退職等の場合は、原則一括徴収となります。

【提出先】 〒299-2492 南房総市富浦町青木28番地 南房総市 税務課

用紙が足りない場合には、コピーしてお使いください。

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

年度

1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

南房総市長 宛

令和 〇 年 10 月 5 日提出

特別徴収義務者
給与支払者

所在地
〒 299-2416
南房総市富浦町青木〇〇番地

フリガナ
カブシキガイシャ 〇〇〇〇〇

氏名又は名称
株式会社 〇〇〇〇〇

個人番号
又は法人番号

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

一個人番号の
左端を空欄

特別徴収義務者
指定番号
7〇〇〇〇

整理番号
10

例：9月末で転勤する従業員が、
10月から新しい勤務先で
給与天引きを継続する場合。

総務課給与係
南房 花子
0-33-〇〇〇〇
内線()

フリガナ
氏 名
生年月日
個人番号
受給者番号
1月1日
現在の住所
異動後の
住 所

トミウラ ジロウ
富浦 次郎
昭和56 年 7 月 8 日
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
南房総市岩糸〇〇番地
同上

(ア)
特別徴収税額
(年税額)
60,000 円

(イ)
徴収済額
6 月から
9 月まで
20,000 円

(ウ)
未徴収税額
(ア)-(イ)
10 月から
5 月まで
40,000 円

異 動 日
R6 年
9 月
30 日

異 動 の 事 由
1. 退職
2. 転 勤
3. 休職・長勤
4. 死 亡
5. 支払少額・不定期
6. 合併・解散
7. そ の 他
事由・理由
[]

異 動 後 の 未 徴 収
税 額 の 徴 収 方 法
1
1. 特別徴収継続
2. 一括徴収
3. 普通徴収
(本人納付)

1. 特別徴収継続の場合

(新しい勤務先)
特別徴収義務者
指 定 番 号
所 在 地
フリガナ
氏名又は名称

新規
〒 260-0855
千葉市中央区市場町〇〇番地
△△△ カブシキガイシャ
△△△ 株式会社

法人番号
3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3

担当者連絡先
所属
氏名
電話

経理課
三芳 太郎
043-〇〇〇-〇〇〇〇
内線()

新しい勤務先へは、月割額 5,000 円を
10 月分(翌月10日納入期限分)から
徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号

納入書の要否
(新規の場合のみ記載)

1 1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

理由
1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため
2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日
月 日

徴収

必ず事前に新たな勤務先の経理担
当者に連絡してください。

た税額は、
月10日納入期限分)で

3. 普通徴収の場合

理由
1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため
3. 死亡による退職であるため

※市記入欄

【提出先】 ㊦299-2492 南房総市富浦町青木28番地 南房総市 税務課

用紙が足りない場合には、コピーしてお使いください。